

品川区教育委員会会議記録

平成 23 年 第 3 回 臨時会

場 所 教育委員室

期 日 平成 23 年 7 月 5 日

開 会 午後 2 時 02 分

閉 会 午後 4 時 03 分

出席委員	委 員 長	安尾 久子
	委員長職務代理者	細川 珠生
	委 員	市川 信之助
	委 員	鈴木 敏夫
	教 育 長	若月 秀夫
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	田村 信二
	庶 務 課 長	齋藤 信彦
	学 務 課 長	和氣 正典
	指 導 課 長	冠木 健
	品川図書館長	中元 康子

議事運営 および 委員長、教育 長報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> 署名委員に細川委員、市川委員を指名。
---------------------------------	--

件名	追加議事日程 陳情審査 公正で開かれた教科書採択を求める陳情
担当課説明等	<p>(書記より陳情朗読)</p> <p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1番については、教科書採択にあたり、「品川区立小・中学校使用教科用図書採択要綱」に基づき、調査検討委員会と調査研究会の2つの調査研究機関を設けている。調査検討委員会には、校長、副校長と専門的立場から指導助言する学識経験者、そして父母・区民の代表が入っている。また、調査研究会では、校長、副校長を含めた教員が調査研究にあたっており、教育現場の意見は十分に聞いている。 2番については、各教育委員会に送付される見本は、文部科学省が認める範囲内の冊数であり、学校数分を確保するといったことは出来ない。なお、教科書展示会は、法定展示のほか、特別展示を実施している。十分な展示期間を確保しており、各学校への配布は必要ないものと考えている。 4番については、教科書採択の決定を行なう教育委員会の会議は、公開されており、それは採択結果についても同様である。また、要望の趣旨でいう調査研究にあたる組織とは、品川区立小・中学校使用教科用図書採択要綱で定める「調査検討委員会」と「調査研究会」であるが、同要綱第8条において、8月31日を過ぎるまで、検討内容、名簿等は公開しないことと規定している。なお、8月31日以降は情報公開請求の対象となる。 <p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 3番については、教科書採択の決定を行なう教育委員会の会議は、公開されている。また、会議内での採決にかかる過程も公開しており、説明責任はつくされている。また、傍聴人数を増やすことは、区役所の物理的問題で全員分を用意するのは無理である。案件により傍聴人数を変えるのではなく、いずれの審議についても会議の場を通常教育委員室とし、傍聴人数も品川区教育委員会傍聴規則第3条にて定めている定員10名とするのが妥当であると考えている。 <p>以上の理由で、事務局としては不採択が適当ではないかと考えている。</p>
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	<p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書採択を行なう教育委員会において、公正で開かれた審議を行う。不採択がよいと考える <p>(委員一同)</p> <ul style="list-style-type: none"> 異議なし

議事結果	不採択
------	-----

<p>件名</p>	<p>日程第1 協議事項</p> <p>平成24年度品川区立中学校等使用教科用図書の採択について（音楽（一般））</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（指導課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき説明
<p>委員質疑要旨</p>	<p>（委員E）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書により、同じ歌でも学習する学年が異なるが、問題となるか。 <p>（委員D）</p> <ul style="list-style-type: none"> B社は学習指導要領に応えた教科書とを感じるが、子ども達には難しすぎることはないか。 <p>（委員C）</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽の知識学習を提供しているのはどこの教科書か、また教える教員にとって、音楽の技能の面で題材が豊富なのはどこの教科書か。
<p>事務局説明</p>	<p>（指導課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領では、定められた日本の歌を各学年で必ず1曲以上教えることとしているが、教える学年については、規定がない。 品川区の音楽の教員は力量があり、また授業や音楽会を観察したところ、子供達も十分取り扱っていけるレベルにあると考えている。 楽典等の知識理解、および技能における基礎基本から活用、探究までの教材について、B社が優れていると考えている。
<p>委員意見要旨</p>	<p>（委員E）</p> <ul style="list-style-type: none"> B社は、内容的に高度であっても、わかりやすいものとなっている。教養として音楽を学ぶことも重要で、ポイントを押さえた作りになっていると思う。 <p>（委員A）</p> <ul style="list-style-type: none"> B社は幅広いジャンルを取り扱っており、また品川区の音楽教育を意識した作りになっている。全体的にB社がよいと感じた。 <p>（委員B）</p> <ul style="list-style-type: none"> A社、B社ともに甲乙付け難いが、B社を推す意見が多い。B社で仮決定したい。 <p>（委員一同）</p> <ul style="list-style-type: none"> 異議なし
<p>議事結果</p>	<p>音楽（一般）はB社に仮決定する。</p>

<p>件名</p>	<p>日程第1 協議事項</p> <p>平成24年度品川区立中学校等使用教科用図書の採択について（音楽（器楽合奏））</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（指導課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき説明
<p>委員質疑要旨</p>	<p>（委員D）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書内の配列で、A社は和楽器から、B社はリコーダーから始まるが、どう評価しているのか。 <p>（委員B）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の配列として、小学校で親しんだリコーダーから入ることは、良いことではないのか。 <p>（委員E）</p> <ul style="list-style-type: none"> 器楽合奏の教科書として、必要な項目とは何か。 <p>（委員C）</p> <ul style="list-style-type: none"> 器楽合奏を学習するにあたり、習得、活用、探究等、選択項目が多いのはどこの教科書か。 <p>（委員B）</p> <ul style="list-style-type: none"> 品川区の子供達にとって、教科書の内容として必要とする項目はどのようなものか。 和楽器は、各学校でどのくらい数が用意されているのか。
<p>事務局説明</p>	<p>（指導課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> 品川区の小中一貫教育要領では、和楽器を推進している。また、品川区の子供達にとって興味のある琴から入るA社の教科書は、親しみが持てると思っている。 実際、器楽合奏の授業では、各学校の指導計画に基づき、授業を進めているため、教科書の初めから順番に使用するわけではない。 たとえば、リコーダーの音の出し方を教科書で確認できるといったものが、学習の中で必要となってくる。 器楽合奏の学習において、選択項目が多いのは、A社であり、子供たちにとって学習に直結する教材が多く掲載されている。 楽器の演奏を単独でもできるような楽譜が用意されている教科書がよいと考えている。 和楽器の数は、琴の場合、各学校20台をレンタルしている。その他の和楽器は、楽器の指導等、地域協力で行われており、用意される数はそれぞれ異なっている。
<p>委員意見要旨</p>	<p>（委員B）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎的な演奏について、丁寧な作りになっているのはA社と感じる。 <p>（委員E）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習するにあたって、わかりやすさではA社と考える。 <p>（委員B）</p> <ul style="list-style-type: none"> A社を推す意見が多い。A社で仮決定したい。

	(委員一同) ・ 異議なし
議事結果	音楽器楽合奏はA社に仮決定する。

<p>件名</p>	<p>日程第1 協議事項 平成24年度品川区立中学校等使用教科用図書の採択について（美術）</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（指導課長） ・ 統括指導主事より説明する （統括指導主事） ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>（委員B） ・ C社だけが1冊となっているが、メリット、デメリットはあるか。 （委員D） ・ 教科書によって、構成内容が異なっているが、各社の特徴を説明してほしい。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>（統括指導主事） ・ C社は、1冊の教科書のため、振り返って学習内容を確認できるが、掲載されている生徒作品が、8年生もしくは9年生のどちらのものか確認できないといった問題がある。また1冊のため重量がある。 ・ A社はこれまでの美術の教科書を踏襲した構成となっている。B社は身の回りから始まり、美術へのかかわりの対象を広げていくという、生活の中から美術を取り組んでいくといった新しい形となっている。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>（委員E） ・ B社は各作品の要点が整理されている。身近なものから広がっていくといった見せ方はいい形と思う。 （委員D） ・ A社は見開き表示などインパクトが強い。B社は7年から9年までの学習の進め方、教科書の新しい構成、作品の表示方法がよい。B社がよいと思う。 （委員A） ・ 市民科との関連性、およびテーマがしっかりとしているB社がよいと考える。 （委員B） ・ B社を推す意見が多い。B社で仮決定したい。 （委員一同） ・ 異議なし</p>
<p>議事結果</p>	<p>美術はB社に仮決定する。</p>

<p>件名</p>	<p>日程第2 報告事項</p> <p>平成23年度通学区域弾力化に関するアンケート調査結果について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき説明
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> 私立中学校への進学が増えた理由は何か。 <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校公開が、学校を選択する際の判断材料として、大きな役割をしていると考えるが、その影響をどうとらえているか。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明会などの学校行事への参加の促しをどのような形で行っているのか。 <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長年この調査を実施しているが、校長や教職員の評価が継続して低いことに対する見解はどうか。
<p>事務局説明</p>	<p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 付属中学のある有名高校の高校からの受け入れ停止や、有名私立大学の付属高校が中等部や初等部を作り、早いうちからの入学を推進している影響と考えている。また、塾などが私立進学を積極的に進めている影響もある。 学校公開に参加をし、直接みていただくことで学校を判断いただいていると考えている。また分離型連携校での体験入学の実施は、入学者数に良い影響を与えていると考えている。 品川の小学生は、区立中学校を日常的に見ており、特に連携校では、意図的にアプローチし、学校行事に参加していただいている。私立は特別に訪問するので、強い印象を受けることもある。但し、それが学校を選ぶ決定的な理由にはならないと考えている。 <p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 校長や教職員に熱意のある人が増えているのは事実である。現状を厳しく受け止め、いかに支援し、PRしていくかは重要なテーマであると考えている。
<p>委員意見要旨</p>	<p>特になし</p>
<p>議事結果</p>	<p>了承</p>